



横須賀市立夏島小学校 学校だより

～夏小タイム～



校長 山崎 亨

なっつ ShowTime

先生が大切にしていること・・・

新年度がスタートし、これまで先生方が大切に心掛けている合言葉のようなものがあることをご存じですか。それは、「黄金の3日間」「黄金の1週間」という言葉です。

この言葉の意味は、学級を開く最初の3日間または1週間を、「子どもたちとの新しい一年を左右する最も大切な期間」として捉える言葉で、学級経営の一つの指針として定着しています。最初のうちに担任の思いや願いを子どもたちにしっかり伝え、学級の約束事やルールをクラス全体で確認していくことが大切だとされています。

新しい環境に変わり、子どもたちは不安と期待でいっぱいです。「今度のクラスでも、みんなと楽しく過ごせるかな」「担任や級外の先生はどんな先生かな」などなど心配だらけでしょう。そのような子どもたちの心配を払しょくするために先生方は学級に対してさまざまな活動を実践します。自己紹介、仲間づくりゲーム、学級目標づくり、自分自身の目標づくり、約束ごとの確認、係活動、当番活動決め、担任によるクラスづくりへの思いを語るなどなど・・・どれもこれもが学校生活になくってはならないものであり、本年度の学級、そして学年の方向性を決めていくものでもあるのです。



最も重要なのは、担任が子どもたちに、「この教室は、クラス全員が安心して過ごせる場所」であると明確にし行動で示すこと。一人一人の違いを認め、「君にはこんな良いところがあるよ」「一人一人違っていいんだよ」というメッセージを、我々が率先して発信していくことが大切です。

子どもたちと先生とでコツコツとつくり上げていく『あたたかな学校』づくりを、現在進行形で取り組んでいる最中です。

1年生を迎える会で全学年集合!

新型コロナウイルス感染の影響を受けていた「1年生を迎える会」が、3年振りに復活しました。昨日に会が行われ、全学年がそろい楽しいひと時を過ごしました。

温かな拍手で迎えられ一年生が入場。旧運営委員6年生が1年生に向



けて優しさあふれるメッセージを披露し、1

年生代表の子もしっかりとお兄さん、お姉さんに向かってあいさつができました。全校ゲームの『夏島じゃんけん』では大いに盛り上がり、1



年生はバッチリ夏島小学校の仲間入りを果たすことができました。

あいさつが飛び交うまち、学校に・・・

朝、子どもたちを校門で迎えていると多くの子が「おはようございます!」とあいさつをしてくれます。私にとって、子どもたちとの最初のコミュニケーションがこの一言で始まります。

気持ちのいいあいさつをしてくれる子が多くいる一方で、こちらから「おはようございます!」と言っているのに無視をする子や友だちとしゃべりながら通り過ぎる子、声が小さすぎてこちらまであいさつが聞こえてこない子も少なからずいます。

このような状況で、朝会の場で『あいさつ』について話をする機会がありました。その時に子どもたちに伝えたことは、あいさつは「自分から進んで」「相手に聞こえる声で」「相手の目を見て」の三点。また、朝や帰りのあいさつはもちろんのこと、校舎内でも廊下などですれ違った先生やお客さんとあいさつできるようにしていこうと伝えました。

これから先、社会に出て生活していく上で、「自分から人に関わること」「礼儀正しく人と接すること」等を大切にしていくことは言うまでもありません。きちんとあいさつができることは人とのつながりを築いていく上で、欠かすことはできないでしょう。

本年度は『あいさつが飛び交うまち、学校』を重点目標として掲げています。これから先大人になっても、夏島小が誇れる自慢の一つ『あいさつ』が継続していける子を、地域、保護者の皆さんと共に育てていきたいと思えます。